

地域の福祉のお仕事シリーズ⑧

社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域の皆さんとともに“ふくしのまちづくり”を進めています。

地域の福祉のお仕事シリーズでは、社協の事業とともに地域で活躍しているさまざまな福祉の専門職をご紹介します。“ふくしのまちづくり”が、

ふだんのくらしのしあわせにつながりますように。

社会福祉協議会の **鶴ヶ島 社協** で **検索** ホームページ・Instagramをご覧ください。

この「社協だより」は、共同募金配分金により作成しています
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

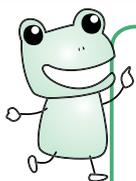


ホームページ Instagram

ふくしの 社協だより No.155 R7.3.1 まち

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会



スクールソーシャルワーカー 鶴ヶ島市立教育センター



スクールソーシャルワーカーとは、こどもに寄り添い、生活におけるさまざまな問題を解決するために支援を行うお仕事です。今回は、鶴ヶ島市立教育センターのスクールソーシャルワーカー 松元 チヅ子さんにお話を伺いました。

お仕事の詳しい内容を教えてください。(この仕事を選んだ理由、1日の流れなど)

近年、こどもたちを取り巻く状況は大きく変化しています。具体的には、不登校の児童生徒や貧困家庭、ヤングケアラー等の増加があります。そのようなこどもたちの家庭の状況を改善するために、どの関係機関と連携し協力していけば家庭が安定し、より良い生活を送ることができるのかを考え、情報提供等を行い福祉の側面からの支援につなげています。

大変なこと、やりがいを感じることを教えてください。

不登校の児童生徒の家庭を訪問したり、電話したり、メッセージを届けたりしています。訪問しても会えなかったり、状況の進展が見られなかったりすることもあり



ます。どのようにアプローチしていけば良いか、つながる機会を模索しながら取り組んでいます。行政や学校の支援により家庭環境の改善が見られたり、不登校だった児童生徒が少しずつ学校に通えるようになったりする姿を見たときは、とても嬉しくなります。



今後の目標、やりたいことなどを教えてください。

不登校のこどもたちを含め、全てのこどもたちが「自立した生活」を送って欲しいと思います。「自立」とは、「自分で考え行動し、自分の生活は自分で賄える」とことと捉えています。そのためにも、自立への支援を続けていきます。

家庭の安定を図るために、保護者の抱える悩みを聞き関係機関と共に生活向上の支援をしていきます。また、学校から離れていても学ぶことには触れていて欲しいです。学校以外の学ぶ場の情報提供と共に、知ることに興味をわくようなプリントを配布する等、こどもたちの自立支援に向け取り組んでいきます。

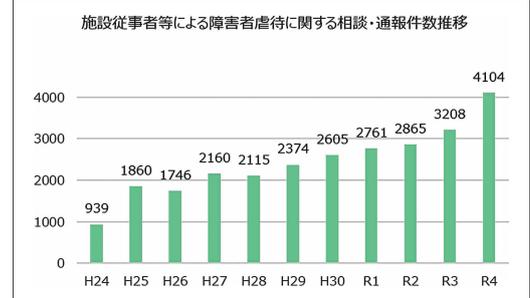




質の高い支援を目指して ～「障害者虐待防止研修会」の取り組みから～

鶴ヶ島市障害者基幹相談支援センターは、障害のある方やそのご家族、関係者のための総合相談窓口です。

地域の相談支援の拠点として、障害福祉のサービスの制度や利用案内、市内の関係機関に対する助言や提案、研修や連絡会議を開催しています。今回は、業務の1つである「権利擁護・虐待防止」に焦点を当てた取り組みを報告します。



第140回厚生労働省社会保障審議会資料より抜粋・一部修正

障害者虐待防止法が施行され12年が経過し、今年度からは障害福祉サービス提供事業所では職員に対して関連する研修を実施することが義務付けられました。

その一環として、令和6年11月に「障害者虐待防止研修会」を地域の障害福祉サービス提供事業所を対象に開催いたしました。当日は37名の参加者と一緒に「虐待とは何か」「支援を行う上で留意するポイント」等について、講義とグループワークを通じて学びを深めると同時に、参加者が日々の支援の中で意識していることや、気になっていることを共有しました。

グループワークでは「風通しの良い事業所にするためにはどうしたらよいか」や「本人の特性を活かした支援を行うには」などの意見交換を行うグループもあり、各事業所で意識的に取り組んでいただいていることを再確認できる機会にもなりました。



サービス提供事業所で発生する障害者虐待の相談・通報件数は年々右肩上がりとなっています。虐待は突然起こるケースは稀で、『日常生活』の中にある『不適切な支援』が虐待につながってしまうことがほとんどだと言われています。そのため事業所や職員間で日々の支援について振り返りつつ、お互いに確認し合う取り組みが重要となります。

今回の研修内容を、ぜひ事業所の日々の支援に活かし、より質の高い支援を鶴ヶ島市全体で目指していければと思います。

参加者の感想・気づき等

一部抜粋

- 日常的に行っている支援について、不適切な支援になっていないか再確認する機会になりました。
- 普段何気なく使っている言葉づかいや支援を今一度確認することが必要と感じました。
- 一個人だけでなく組織として共通理解をしていくことが重要と感じました。
- 具体的な事例や不適切な対応例を示していただきイメージが湧きやすかったです。普段のケアを振り返りながらより良い支援を提供できるよう頑張っていきます。



さあ やろう！シリーズ④



～「集いの場」「ボランティア団体」の紹介～

このシリーズでは、地域で気軽に参加できる「集いの場」や「ボランティア団体」を紹介していきます。第四弾は、「ボランティア団体」からの紹介です。

地域の「ボラ ン テ ィ ア」

ボランティアとは、社会課題の解決のために、自分のできることを・できる範囲で・自らすすんで行うことをいいます。特徴として「自主性・主体性」、「社会性・連帯性」、「無償性・無給性」「創造性・開拓性・先駆性」があげられます。

鶴ヶ島市社会福祉協議会には、約50の団体がボランティア登録をしています。環境、福祉、防災、演芸、国際、IT、子ども等様々なボランティア団体が立ちあがっています。

楽しいことを見つけて、やりたいことを始めてみると、自分の時間に彩りが添えられます。



女声コーラスいずみ会



場 所：北市民センター

日 時：第2第4木曜日

午前10時～12時



60歳から90歳近くまでの女性で、童謡、唱歌、歌謡曲等々幅広く歌を楽しんでいます。

世界で活躍するピアニストのkuniko先生、トレーナーの松澤先生と一緒に心と体を育て、市内施設への訪問、各地の音楽会への参加等をしています。

音を楽しむ⇒音楽です。一緒に歌いましょう。



見学希望の方は事前に社会福祉協議会へお問い合わせ下さい。
(8ページ窓口一覧を参照)

他にも、様々な内容のボランティアがあります。

ご興味のある方は、お気軽に社会福祉協議会までお問合せください！

ヤングケアラー・こども支援事業

ふれふれがスタートしました

令和7年1月から、ヤングケアラーがいる家庭等へ兄弟姉妹の世話や買い物、食事の支度等の家事などの支援を行う事業が始まりました。この事業を通して、ヤングケアラーのケアに要する負担を軽減し、こどもらしく安心して過ごす機会を確保することを目指します。

対象や内容などの詳細は、以下の問合せへご連絡ください。

問合せ 社会福祉協議会 049-286-5739

※ヤングケアラー：家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている18歳未満のこどもをいいます。

地域福祉計画
イメージキャラクターの
「つる♥ほっとちゃん」
です

大人も知って
皆でサポートしよう！



出身地：鶴ヶ島市
性格：ほっとけない

つる♥ほっとちゃん

つる♥ほっとちゃんは
鶴ヶ島市在住の
イラストレーター
フルタハナコさんと
作成しました！





社協会員加入のご協力ありがとうございます

令和6年度につきましても、みなさまのご理解・ご協力ありがとうございました。
会費は、地域福祉活動の財源として有効に活用させていただきます。

■会員加入集計表

(令和6年12月末日現在)

会員区分	件数(件)	口数(口)	集計額(円)
個人会員 1口 500円	3,389	3,845	1,939,500
団体会員 1口 1,000円	55	87	87,000
賛助会員 1口 10,000円	75	88	880,000
合計	3,519	4,020	2,906,500

会費の主な使い道

- 市内小中高等学校での福祉教育の推進
- ボランティア活動の支援
- 広報などの啓発事業 など

会員加入は随時受け付けています。
直接社会福祉協議会事務局までお願いします。



社協団体・賛助会員加入協力者の方々 (令和6年12月末日現在) (順不同・敬称略)

団体会員

- ・アーデット (A de T)
- ・ウクレレ・ルアウ
- ・エコ鶴市民の会
- ・大谷川源流の会
- ・劇団メルヘン
- ・声なびシネマわかば
- ・高次脳機能障害者を支える会 こもれび
- ・ゴミひろいサークル
- ・コミュニティハーウス まさこ食堂
- ・埼玉レスキューサポート・バイクネットワーク
- ・女声コーラスいずみ会
- ・サザン地域支え合い協議会
- ・杉下地域支え合い協議会
- ・すねおり地域支え合い協議会
- ・つるがしま中央地域支え合い協議会
- ・壮年塾 Gのつどい
- ・知的障がい児・者を理解しようDen・Den
- ・チヨキチヨキはなちゃん
- ・鶴ヶ島音訳ボランティアサークル せせらぎ
- ・鶴ヶ島傾聴ボランティア つる
- ・鶴ヶ島視覚障がい者の会 アイネット
- ・鶴ヶ島市国際交流協会
- ・鶴ヶ島市国際友好ふれあい会 折鶴会
- ・鶴ヶ島市手話通訳問題研究会 折鶴会
- ・鶴ヶ島市障害者支援ネットワーク協議会
- ・鶴ヶ島市食生活改善推進員協議会
- ・鶴ヶ島市赤十字奉仕団
- ・鶴ヶ島市点字サークル アイ
- ・鶴ヶ島なかよしっ子クラブ
- ・鶴ヶ島市聴力障害者会
- ・鶴ヶ島市子育て応援フードパントリー新町
- ・鶴ヶ島パソコンサポートボランティア
- ・鶴ヶ島を愛する会
- ・つるがしま市民情報連絡会
- ・ハッピーの会
- ・発達理解支援サークル・ギフトテッド
- ・花咲くおとめ座
- ・びかる
- ・Pili Aloha
- ・福祉喫茶よつばを育てる会

賛助会員

- ・フラワーフレンドズおおたがや
- ・フリースクール鶴ヶ島
- ・緑の会
- ・豊かな老後を考える会
- ・理容ふじなり
- ・朗読ボランティアサークル おひさま
- ・わかば風の会
- ・若者への福祉教育研究会
- ・NPO法人 荒川流域ネットワーク
- ・NPO法人 鶴ヶ島動画ファンクラブ
- ・NPO法人 こつこの会
- ・NPO法人 つるがしま里山サポートクラブ
- ・一般社団法人 Fluter kaigi
- ・伊東梅子
- ・後口修
- ・内野育雄
- ・大澤治之
- ・武田和子
- ・田中正一
- ・中村伸子
- ・成瀬有一
- ・林田俊一
- ・藤岡利子
- ・諸井純子
- ・(株)朝日ハウジング
- ・(株)北田工務店
- ・(株)KURIHARA
- ・(株)三愛メモリアル
- ・(株)公誠電設
- ・(株)コモディイイダ鶴ヶ島店
- ・(株)ネクスト
- ・(株)長谷川工務所
- ・朝日産業(株)
- ・関東エコシステム(株)
- ・さんきゅー(株)
- ・福島商事(株)
- ・(有)あさひ総合保険
- ・(有)鈴幸
- ・(有)東京工芸社
- ・(有)戸口工業
- ・(有)廣嶋建材店
- ・(有)豊美園
- ・(有)ヌマタ自動車
- ・(有)バステルオート
- ・(有)芳野総業
- ・埼玉りそな銀行鶴ヶ島支店
- ・埼玉信用金庫鶴ヶ島北支店
- ・埼玉信用金庫鶴ヶ島支店
- ・飯能信用金庫鶴ヶ島支店
- ・池田社会保険労務士事務所
- ・社労士事務所いしかわ
- ・志村税務会計事務所
- ・SOMPOケアラヴィーレ鶴ヶ島
- ・大宝園製茶工場
- ・つるがしま最中本舗
- ・滝沢音楽教室
- ・テパエ鶴ヶ島
- ・脚折山田自治会
- ・鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会
- ・宗教法人善能寺
- ・日蓮正宗啓信寺
- ・社会福祉法人愛宕会 あたご保育園
- ・社会福祉法人鶴林会 さかえ保育園
- ・社会福祉法人白桜会 笹久保さくら保育園
- ・社会福祉法人はちの果会 第二はちの果保育園
- ・社会福祉法人稲穂の道
- ・社会福祉法人鶴守会 清光苑
- ・社会福祉法人忠黎会 特別養護老人ホーム 鶴ヶ島ほほえみの郷
- ・学校法人つるがしま白百合学園
- ・一般社団法人NIPPON終活サポートセンター
- ・一般社団法人わかば幸せ相続相談センター
- ・NPO法人あゆみ福祉会
- ・NPO法人かえる ステップ
- ・NPO法人カローレ
- ・NPO法人埼玉障害者センター すまいるほうす
- ・NPO法人鶴ヶ島第二小学校地域支え合い協議会
- ・NPO法人トータルファミリーサポートあゆみ
- ・医療法人菊一會鶴ヶ島池ノ台病院
- ・老人保健施設 鶴ヶ島ケアホーム
- ・鶴ヶ島在宅医療診療所
- ・鶴ヶ島耳鼻咽喉科診療所
- ・にし眼科クリニック
- ・川野医院
- ・関越病院



共同募金運動にご協力ありがとうございます

10月1日から全国一斉に始まりました共同募金運動は、みなさまのあたたかいご理解とご支援をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

■赤い羽根募金

(令和6年12月末現在)

戸別募金	2,309,992円
街頭募金	194,876円
職域募金	223,000円
学校募金	48,776円
個人大口・法人募金	153,000円
合計	2,929,644円

主な使い道(赤い羽根募金)

- 市内の小、中学校へ福祉教育・体験学習のための支援
- ふれあい・いきいきサロン登録団体への支援
- ボランティア・市民活動団体への支援

■地域歳末たすけあい募金

(令和6年12月末現在)

戸別募金	1,452,764円
個人大口・法人募金	65,000円
合計	1,517,764円

主な使い道(地域歳末たすけあい募金)

- さいまつ♥ほっと事業(対象となる方や世帯へ、お米券等の援護品の配布を通して地域との繋がりを作る)

会員加入及び共同募金運動は、福祉委員を中心に、各自治会の自治会長や班長を始めとし、多くの方々のご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。



共同募金協力者の方々

(令和6年12月末現在)
(順不同・敬称略)

- ・市内の小、中学校へ福祉教育・体験学習のための支援
- ・ふれあい・いきいきサロン登録団体への支援
- ・ボランティア・市民活動団体への支援

職域募金

(寄付金つきグッズによる募金への協力)

- ・鶴ヶ島市手話通訳問題研究会 折鶴会
- ・鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会
- ・NPO法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会
- ・北地域支え合い協議会
- ・西部地域支え合い協議会
- ・助け合い隊(地域支え合い協議会)

- ・平成会
- ・鶴ヶ島市社会福祉協議会理事
- ・ボーイスカウト鶴ヶ島第一団

街頭募金

- ・鶴ヶ島第一小学校 ボランティア委員会
- ・鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会
- ・鶴ヶ島市赤十字奉仕団

戸別・個人大口募金(1万円以上)

- ・個人3名
- ・(有)廣嶋建材店
- ・アローラ(株)
- ・笹久保さくら保育園
- ・(株)久米平
- ・(有)木村屋
- ・関越病院
- ・(株)岩間工業
- ・(有)東京工芸社
- ・(有)東陽工事

法人募金(5千円以上)

- ・栄小学校
- ・さかえ保育園
- ・かもめ保育園
- ・武蔵野銀行 鶴ヶ島支店
- ・埼玉りそな銀行鶴ヶ島支店
- ・鶴ヶ島市赤十字奉仕団
- ・鶴ヶ島市役所職員
- ・鶴ヶ島市社会福祉協議会役員
- ・その他、多くの市民の方々

学校募金

- ・鶴ヶ島第一小学校
- ・鶴ヶ島第二小学校
- ・杉下小学校
- ・長久保小学校
- ・栄小学校
- ・新町小学校
- ・藤小学校
- ・南小学校
- ・鶴ヶ島中学校
- ・藤中学校
- ・富士見中学校
- ・西中学校
- ・南中学校
- ・鶴ヶ島清風高等学校

赤い羽根自動販売機の設置

- ・埼玉縣信用金庫 鶴ヶ島北支店

募金箱の設置、ポスターの掲示、街頭募金実施場所などの協力

- ・東武東上線 坂戸駅
- ・東武東上線 鶴ヶ島駅
- ・東武東上線 若葉駅
- ・ワカバウオーク
- ・カインズ 鶴ヶ島店
- ・ベルク すねおり店
- ・ベルク 鶴ヶ島店
- ・ヤオコー 鶴ヶ島店
- ・特別養護老人ホーム みどりの風鶴ヶ島
- ・鶴ヶ島自動車教習所
- ・つるがしま中央地域支え合い協議会
- ・北地域支え合い協議会
- ・すねおり地域支え合い協議会
- ・サザン地域支え合い協議会
- ・シルバー人材センター
- ・保育園、幼稚園
- ・鶴ヶ島市立中央図書館
- ・各市民センター
- ・各地域包括支援センター



10月20日 鶴ヶ島自動車教習所「ハートフルマーケット」にて 赤十字奉仕団



「つるがしまこども応援ネットワーク」が 設立されました！

令和6年11月に鶴ヶ島市内のこども食堂等の団体、社会福祉協議会、関係機関の総意により「つるがしまこども応援ネットワーク」が設立されました。

この会は、こどもたちを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、支援を必要とする鶴ヶ島市民に、こども食堂等の居場所や様々な物資等の支援を提供することにより、豊かで健康的な充実した生活ができる地域社会づくりに寄与することを目的としています。



「こどもまんなかフェスティバル」

「つるがしまこども応援ネットワーク」の設立を記念して、2月8日に南市民センターで「こどもまんなかフェスティバル」を開催し、ネットワークに参加している各団体の活動を紹介しました。



ステージでは藤中学校ダンスサークル「Lien」によるオープニングダンス、人形劇などが披露されました。各団体ブースの催しは、やきそばやからあげなどの飲食コーナー、食育や車いすの体験コーナーなどもりだくさん！来場された方々の笑顔が印象的でした。また、当日は団体以外にも様々なボランティアの方にご協力いただき、一緒に盛り上げていただきました。イベントを通して、多くの市民の方にネットワークを知っていただく機会となりました。社会福祉協議会はネットワークの一員として、1人でも多くのこどもたちが幸せになれるようお願い協力して活動していきます。

※このイベントは、共同募金配分金により実施しました。



手話
ワンポイントレッスン
「こども」

右てのひらを下にして開き、真ん中から右へずらしながら、ポンポンと押さえます。



令和6年度 おめでとございます

全国社会福祉大会

長年、社会福祉協議会役員等として、協力援助をいただき、功績が顕著であった2名が受賞されましたので、ご紹介いたします。(敬称略、順不同)

「全社協会長表彰」

社会福祉協議会役員等
 ・藤岡 利子 ・滝 壽美子

埼玉県社会福祉大会

埼玉県の社会福祉の発展に功績のあった998名・185団体が表彰されました。鶴ヶ島市内で長年活動している個人・団体が次の各部門で受賞されましたので、ご紹介いたします。(敬称略、順不同)
 ※鶴ヶ島市社協から推薦をし、受賞された方々を掲載しています。

「埼玉県社会福祉大会知事表彰」

①ボランティア (団体を含む)

現に社会福祉事業のボランティアとして15年以上、又はボランティア団体として10年以上にわたり率先して活動を行い、その功績が特に顕著であり、他の模範であると認められるもので、ボランティア又はボランティア団体として埼玉県社会福祉大会会長表彰を受賞したものを

- ・黒沢 美江子 ・鶴一小交流サロン大けやき
- ・川野 あけみ ・サロンあじさい
- ・鶴ヶ島市国際交流協会



鶴ヶ島市国際交流協会
会長 長峰さん



「サロンあじさい」の
みなさん

②共同募金活動奉仕者

共同募金活動の推進のための奉仕者として15年以上、又は奉仕団体として10年以上にわたり率先して活動を行い、その功績が特に顕著であり、他の模範であると認められるもの

- ・町田 房江(県営鶴ヶ島すねおり団地自治会 福祉委員)

「埼玉県社会福祉大会会長表彰」

ボランティア

現に社会福祉事業のボランティアあるいは住民参加型在宅福祉サービスの協力者として10年以上、又はボランティア団体あるいは住民参加型在宅福祉サービス団体として8年以上にわたり、率先して活動を行い、功績顕著なもの

- ・おきらく喫茶
- ・カルチャー縁側サロン
- ・ウクレレ・ルアウ
- ・朗読ボランティアサークル「おひさま」
- ・鶴ヶ島市立西中学校
- ・特定非営利活動法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会
- ・富士見地区地域支え合い協議会
- ・サザン地域支え合い協議会

「埼玉県共同募金会会長表彰」

奉仕者

- ・三芳 基(富士見自治会 福祉委員)

優秀地区・団体

- ・鶴ヶ島市民生委員・児童委員連合協議会
- ・鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校



鶴ヶ島中学校 奉仕委員会
左から 副委員長 岩田さん、
委員長 上野さん、谷ヶ崎校
長先生

日本赤十字社有功章等表彰

日本赤十字社で定める奉仕者表彰基準を満たし、かつ役職歴が2期4年以上あり、前回の表彰から5年を経過された方の受賞が決定しましたのでご紹介いたします。(敬称略、順不同)

- | | | |
|---------|--------|---------|
| 金色有功章 | | 金柁感謝状 |
| ・長田 久美子 | ・落越 道子 | ・山崎 たか子 |
| ・斉藤 澄江 | ・有隅 すみ | ・高橋 みさ子 |
| ・渡邊 葉子 | | ・末木 範子 |

鶴ヶ島市社会福祉協議会会長表彰

鶴ヶ島市社会福祉協議会(以下、本会)の発展に尽力し、本会事業に積極的に協力し、多額の寄付をした個人・団体へ感謝状の贈呈を行いました。(敬称略、順不同)

表彰状

- ・黒川 道雄
- ・近藤 康治
- ・河端 幸男
- ・関 重治
- ・大澤 重敏

感謝状

- ・(株)ベルク すねおり店
- ・(株)ベルク 鶴ヶ丘店
- ・坂戸ガス(株)
- ・武州ガス(株)
- ・持田 洋三



4コマ漫画でつる♡ほっとちゃんと学ぼう「地域共生社会」

地域共生社会とは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、市民や地域の多様な主体が「我が事」として加わり、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会のことです。



つる♡ほっとちゃん

鶴ヶ島市を「ほっと(あたたかく、安心、活発)」にするために活動する。とにかくほっとけない性格

鶴ヶ島家お父さん

認知症が進んでおり、たびたび徘徊してしまう



はじめまして つる♡ほっとちゃんです①



②



③



④



漫画 フルタハナコ

3人乗り自転車抽選のお知らせ

鶴ヶ島市社会福祉協議会では、3人乗り自転車の抽選を二次元コードから受付します。二次元コードからの申込みが難しい方は、お電話でご連絡ください。

3人乗り自転車貸出の詳細については、社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

抽選の結果につきましては、申し込み者全員にご連絡します。

自転車受け渡しの詳細は、当選者にご連絡します。

対象者：鶴ヶ島市内在住で、1歳～小学校入学前の年齢のこどもが2名以上いる方

申込期間：令和7年3月3日(月)～24日(月)

抽選日：令和7年3月末

費用：月1,000円×使用月数(最大12か月)

問合せ：049-271-6011

担当：児玉、小峰



申込みはこちら



あたたかい善意、ありがとうございました。

(社会福祉協議会への寄附)

お寄せいただきました善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。(順不同、敬称略)

鶴ヶ島市ゴルフ協会	43,000円
五十嵐 久也	2,025円
鶴ヶ島市老人クラブ連合会	23,857円
鶴ヶ島自動車教習所	
ハートフルマーケット実行委員会	88,029円
宗教法人慈眼寺	28,205円
鶴ヶ島市赤十字奉仕団	7,811円
鶴ヶ島美術協会	400円
後口 修	車いす
横山 萌美	プリザーブドフラワー、リース、造花
根本 光子	タオル、はだ着、みそ、調味料

その他、匿名にて3名の方から寄附金と物品をお寄せいただきました。

(令和6年10月1日～令和7年1月31日)

窓 口 一 覧

■鶴ヶ島市社会福祉協議会

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木16-1(市庁舎6階)

(月～金曜日 午前9時～午後5時15分)

電話 049-271-6011(代表) FAX 049-287-0557

●手話通訳者派遣事業担当

FAX 049-271-6277 電話 049-271-6278

●権利擁護支援センター

電話 049-277-3317

●障害者相談支援事業所

●鶴ヶ島市生活サポートセンター

電話 049-277-4116

■鶴ヶ島市立障害者生活介護施設「きいちご」

(月～金曜日 午前9時～午後5時)

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木935-1

電話 049-287-7456 FAX 049-298-3241

